

知ってほしい！ 私たちの生活を支える下水道

9月10日は下水道の日です。下水道を使用できる区域（供用開始区域）の皆さんが下水道に接続することで、悪臭や害虫発生の抑制、河川の浄化、生活環境や自然環境の改善につながります。区域内で、まだ下水道への接続が済んでいない家庭は、必ず接続をお願いします。接続は、市指定工事店に依頼してください。

☎ 下水道課（本渡浄化センター内） ☎ 23-3498



▲指定工事店一覧

※下水道区域以外は、合併浄化槽の設置をお願いします。



▲浄化槽の設置に補助があります

下水道管を守ろう！

下水道に流してはいけないものを流すと、下水道施設に負荷がかかり、宅内配管の詰まりの原因になります。

最近、下水道管やマンホールポンプに水に溶けないタオルや衣類が詰まることが多く、緊急の現場対応や機械の故障が発生しています。下水道を正しく利用し、溜めマスは定期的に清掃しましょう。

流してはいけないもの

- ・油や残飯
- ・紙おむつ
- ・たばこの吸い殻
- ・ボディシート
- ・衣類
- ・その他水に溶けないもの



▲マンホールポンプに詰まったタオルなど

雨の日、下水道がピンチに！雨どいや溜めマスをチェックしよう

トイレなどで使用した生活排水（汚水）は、道路に埋設してある下水道管を通り、処理場で水をきれいにしてから川に放流されます。この過程の中で下水道管に浸入する雨水などが「不明水」です。

雨が降ると、処理場に大量の不明水が流れ込んでくるため、処理場の負担が大きくなり、機械の劣化が早くなります。その結果、高額な機械の修繕を行う必要が出てきてしまいます。また、不明水が多いと、処理できる能力を超えて、下水道管に汚水が溜まり、トイレやキッチンが逆流する恐れがあります。

不明水の原因

- ・老朽化した宅内配管等の隙間などから雨水が浸入する
- ・雨どいなどが下水道管に誤って接続されている

対策

市では、不明水が浸入している箇所の調査を行っています。

皆さんも、自宅の雨どいや溜めマスを確認し、雨天時に不明水が下水道管に流れ込んでいないか確認をお願いします。流れ込んでいる場合は、工事店に依頼し、不明水が流れ込まない対策を行ってください。



▲溜めマス

第61回天草ほんど ハイヤ祭り

昭和41年の天草五橋開通を記念して始まった、本渡の夏を彩る「天草ほんどハイヤ祭り」。初日となる7月25日には、本渡港周辺で市内14園から約460人の園児たちが元気よく踊り練り歩いたほか、直径400m15尺玉の超巨大花火を含む県下最大級の花火が夜空に開花しました。翌26日は、天草市民センターで「踊りの競演」が開催。9団体による趣向を凝らした舞台踊りが披露され、地方の音色とともに会場は熱気に包まれていました。

※8月1日に開催予定だった「道中総踊り」は、令和8年熊本地震のため中止。



踊りの競演フィナーレ